

清央小だより

150th Anniversary



令和6年度 第13号
2024. 9. 9

教
育
目
標

「夢いっぱい 友だちいっぱい 清央小」

- ・自ら学び工夫する子ども (考 える)
- ・元気でがんばる子ども (鍛 える)
- ・礼儀正しく思いやりのある子ども (思いやる)

※本たよりの本文は、ユニバーサルデザインのフォントを使用しています。

今月は「いじめゼロ強調月間」です

9月は「いじめゼロ強調月間」です。

4日水曜日の朝会で、児童会主催の「いじめゼロ集会」が行われました。いじめ根絶に向けた各学年の標語の発表や寸劇、クイズがあり、相手が嫌な気持ちになることや言葉を使わないことなど、子供たちで再確認をしました。

今回、寸劇の完成度が高く、セリフも皆に聞こえるよう大きくはっきり通る声で言っていました。あとで担当の先生に伺うと、結構納得がいくまで何度も練習をしていたそうです。主体的に活動しようとする子供の熱量は、いつもすごいものですね。

また、発表された標語は、いじめは絶対にしてはいけない、みんなで仲良くやっぺいこう、という子供たちの思いや願いが込められていて素晴らしい秀作ぞろいでした。

こうした児童の取組のほか、生活アンケートを行い、その後、教育相談期間となっています。夏休み明けの心配事など、担任の先生とゆっくりお話しできればと思います。



児童会主催の「いじめゼロ集会」



寸劇の様子

全国学力学習状況調査・とちぎっ子学習状況調査

国が行った「全国学力学習状況調査」と県が行った「とちぎっ子学習状況調査」の結果ができました。お子様のお手元にも、結果が返されたことと思います。本校の全体的な結果は、国や県、市の平均を上回った問題もありましたが、中にはかなり低いものもみられました。

さて、この二つは「テスト」ではなく「調査」ですので、「点数」がありません。あくまで、児童生徒の学習状況を調査することが目的で、得られた結果から、実施した教科のどこがウィークポイント（＝対策が必要なところ）なのかを見極め、その後の授業や学習を行っていくものです。

ご家庭では、お子様の結果もさることながら、できれば、問題も一緒に見ていただきたいと思います。問題を知るといことは、国の示す学習指導要領でどんな力が求められているのか分かります。一緒に解いてみても面白いと思います。

例えば、二つの資料やデータを基に、理由や気付いたことを記述する問題などは、最近よく見られる問題です。しかし、正答率は他の問題と比べると、本校だけでなく国や県でも低い傾向にあります。こうした問題は、「知識」を生かして考え表現する力が問われています。

お子様と結果をご覧になるときに、単に「できた」「できない」をみるのではなく、お子様の「強み」と「弱み」を共有していただければ幸いです。そして「弱み」に関しては、教員と保護者が協力しながら克服できるようにしたいものです。

※ 本校の結果は後日HP「各種調査結果」で公表いたしますのでご覧ください。

地元の宇都宮大学にも「データサイエンス科」が新設されたように、膨大なデータを分析し、企業や地域の発展に生かせる事業や施策を生み出していくような能力は、今後一層求められていく力の一つです。



(文責: 校長)